

# 鴨川市男女共同参画推進審議会 平成27年度 第3回会議 会議録

日時：平成28年 1 月19日 (火)

午後 3 時00分～ 4 時30分

場所：市役所 4 階401会議室

## [委員出席者]

| 氏 名    | 備 考  |
|--------|------|
| 上村 美智代 | 副会長  |
| 黒川 洋子  |      |
| 齋藤 守彦  |      |
| 立野 慶子  |      |
| 角田 佐智子 |      |
| 永井 佳美  | (欠席) |
| 長谷川 裕一 | (欠席) |
| 速水 昭雄  | 会長   |

(アイウエオ順・敬称略)

## [事務局]

| 所属・職                                  | 氏 名   |
|---------------------------------------|-------|
| 鴨川市企画政策課 課長                           | 平川 潔  |
| 鴨川市企画政策課 課長補佐                         | 石井 宏子 |
| 鴨川市企画政策課 政策推進係 係長                     | 藤代 公貴 |
| 株式会社アイアールエス<br>(鴨川市男女共同参画計画策定業務受託事業者) | 石原 輝久 |
| 〃                                     | 菊地 幸樹 |

## [会議資料]

- ・ 次第
- ・ 席次表
- ・ 出席者名簿
- ・ 資料 1 第 2 次鴨川市男女共同参画計画（原案）
- ・ 資料 2 計画素案に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧
- ・ 鴨川市男女共同参画推進審議会第 2 回会議 会議録

---

### 1 開会（午後 3 時00分） 司会 企画政策課 係長 藤代

配布資料の確認に続いて、「鴨川市男女共同参画推進審議会設置要綱」（以下、「設置要綱」という。）第 5 条第 2 項の規定に基づき、本日の会議が成立している旨を説明。傍聴者無し。

### 2 会長あいさつ

議事録署名人として、角田委員、上村委員が指名された。

### 3 議事

設置要綱第 5 条第 1 項の規定により会長が議長として進行。

#### 議事（1） 第 2 次鴨川市男女共同参画計画原案について

事務局から、資料 1 「第 2 次鴨川市男女共同参画計画（原案）」及び資料 2 「計画素案に対する委員の意見等及び当該意見等への対応一覧」について報告と説明を行った。あわせて今後のスケジュールについても事務局から説明を行った。

委員の意見等については、以下のとおり。

（議長）

語句の注釈を入れていただいてわかりやすくなった。その他、何か確認したいことやご意見があればどうぞ。

（立野委員）

素案にはなかった母子・父子世帯の状況や女性の就業状況など、新たなデータを掲載した部分について、詳しく表で示されていてわかりやすい。こういったデータがあれば、女性や子どもの貧困といった問題などをより具体的に意識できるのでよい。表紙裏のコラム部分も文字を見やすく工夫しており、よりわかりやすくなっている。

（議長）

パブリックコメントはどのような方法で実施するのか。

(事務局)

計画原案を市ホームページ上に掲載するとともに、市役所に紙ベースの冊子を設置して閲覧していただく。２月１日号の広報には、パブリックコメントを実施する旨の記事を掲載して周知する。

(上村委員)

相談窓口などを、問題解決の方法として計画書の中に掲載してはどうか。

(事務局)

日頃から、福祉総合相談センターのチラシ配布などにより周知を行っているが、そういった情報を本計画に載せるかどうかについては検討させていただきたい。

(議長)

貧困に関する問題は今後さらに重要となるだろう。貧困に関連するデータとしては何か参照できるものはあるのか。

(事務局)

教育委員会で行っている就学援助費の支給の推移などは、把握できるのではないと思う。

(議長)

最近国民健康保険未加入者が増えている。そういった方々を救うために、館山市などで実施している無料低額診療制度を鴨川市でも導入してはどうか。制度を利用する方に、所得なども含めてきちんとした申請書類を書いてもらえば、貧困の実態把握にもつながるし、本当に支援が必要な方を対象に助けることができるのではないか。

(議長)

個々の状況に合わせて相談に乗ってあげられるケースワーカーのような存在が、今後もっと必要になってくるだろう。

(上村委員)

年収が多いときは保険料や税金などはたくさん支払うものだが、たくさん払ってきた人が払えなくなった時、生活保護を受ければよいというのは違うのではないか。払ってきた分に応じて、個別に助けてもらえるようなシステムがあればよいと思う。また、子どもを

預ける際、若い人は保育料がいくらくらいかかるのか前もって知りたいようだ。どこかに問い合わせればわかるようになっているのか。

(事務局)

担当課にお問い合わせいただければ、所得によっていくらか説明することはできる。そういった質問はよくいただくが、保育料利用者負担額の表も公開しており、見方がわからないという方には説明をしている。

(議長)

日本は有給休暇がとりづらいだけでなく、労働時間も守られず、とるべき休暇もとれず残業代も出ないという企業もあると聞く。男女共同参画の問題とは違うのだろうが、労働者の権利を守るためにも、何かの際に調査等をやっていただければと思う。また、現在日本は生まれてくる子どもが非常に少ない状況の中で、国も出生率の目標を掲げているが、例え出生率が2になったとしても人口を増加させるのは難しい。鴨川市は26年度の出生率が1.14ということでとても少ないが、なぜこのような数字になってしまったのだろうか。

(事務局)

26年度の出生数が大幅に減少したことの原因を特定するのは難しい。ただ、27年度は206人で26年度の188人から若干回復した。

(黒川委員)

最近はある程度の年齢になっても結婚していない方が多くなった。

(立野委員)

市でも婚活イベント等をやっているがきっかけづくりになればよい。また、若い人が戻ってくるには、企業誘致で働く場を創出していくことが必要だろう。

(議長)

空き家についてのデータはあるのか。

(事務局)

鴨川市は別荘が多いため、4分の1は空き家である

(議長)

空き家の有効活用ができれば、若い世代の呼び込みにつながるのではないか。空き家に限らず、まちの活性化の応用事例となるような方策に取り組んでみてはどうか。

(上村委員)

小湊では漁師の方の高齢化が進み、後継者不足が問題となっている。5年、10年後にはどうなっているか。

(議長)

一度都会に出て勤めた人は地元に戻ってこない。

(黒川委員)

ファミリーサポートセンターの周知の状況についてはどのような状況か伺いたい。

(事務局)

使いたい人の登録は多くあるが、受入れ側の登録者数は増えていない状況で、高齢化も進んでいる。年に1回は説明会を行うなど周知を行っているが、なかなか登録まで至らない。受入れ側は、子どものお迎えなどに自家用車を使用できないことも、利用につながらない要因のひとつと思われる。受入れ側の登録者がお住まいの場所は市内あちこちなので、利用者側とマッチングがうまくいかないケースもある。

(議長)

ゆとりがあって頼まれればやってもいいが、自分からは手をあげないという方はいると思う。PRの仕方を工夫するなど、登録してくれる方をどうやって見つけ出していくかが課題。

(黒川委員)

家が狭くて受け入れにくいという方もいらっしゃるのではないか。その場合、空き家などを使って預かる場所の整備をするなどの対応も考えられる。

(議長)

きっかけがあればやってもいい、登録してもいいと思っている方の掘り起こしに繋がるアイデア、例えば先ほど話にあがっていた空き家の活用などが必要になるのではないかな。

(齋藤委員)

計画原案についてはわかりやすくなっていると思う。人口が増えないことが一番の問題であると思うが、それは鴨川市だけではなく日本全体のこと。国などは人口を増やそう増やそうとしているが、逆に今後は人口が減ることを前提に考えていくことが必要だと思う。合併してできた安房東中学校は、部活動の種目がないなどの理由で、鴨川中学に生徒を取られて生徒数が逆に少なくなっており、何のために合併したのかよくわからない状況になっている。

(議長)

社会構造にあったやり方が求められている。少子化社会の中で成功している事例など、鴨川市も導入してみてはどうか。このままでは少子化、高齢化が定着してしまう。せめて少子化解消のための取組みを進めるとか、高齢者が働ける環境を整備するなど、何かしらきっかけとなることに取り組んでいく必要がある。

(議長)

議題に関して、このほかにご意見などあれば、今週中に事務局まで願います。

#### 4 その他

事務局から、次回会議日程について提案があり、第4回会議の候補日は「3月16日(水)、18(金)」となった。欠席委員のスケジュールを確認した上で、正式な日程を後日通知する。

#### 5 閉会(午後4時30分)

以上

---

鴨川市男女共同参画推進審議会  
会長 速水 昭雄 様

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

平成28年2月26日

角田 佐智子

上村 美智代